

ガイドライン内 事前協議チェックリスト (花畑地区)

20150310

Ver.B.4

【様式B】

記入日	
計画名	

	項 目	配慮した内容	図面番号	照 合
建築計画 (配置・規模・形状・高さ等)	建物高さは、25m以下もしくは15m以下			<input type="checkbox"/>
	周辺の低中層住居市街地に対する建物高さの配慮(水平距離20mの部分は建物高さ15m)			<input type="checkbox"/>
	周辺の居住環境の向上を図るため、壁面線の位置を制限			<input type="checkbox"/>
外構関係・ 附属物	集合住宅の駐車場は、生垣、植栽柵で死角を作らないように計画し、見え方に配慮			<input type="checkbox"/>
	集合住宅の駐輪場は、足元に低木を設けて緑化するなど景観に配慮			<input type="checkbox"/>
	ゴミ置場は、緑化により目隠しをしたり、建物と一体感のあるデザインなどにより景観に配慮			<input type="checkbox"/>
	屋外施設は、景観に変化をあたえるポイント的なデザインとするなど、周囲の建物との関係性に配慮			<input type="checkbox"/>
	舗装材料は、浸透性のあるものにするなど環境に配慮			<input type="checkbox"/>
	通りとしての統一感、一体感の感じられる素材・色彩に配慮			<input type="checkbox"/>
	街角や車の導入口における視認性を高めるための工夫			<input type="checkbox"/>
	ユニバーサルデザインに配慮した舗装材料			<input type="checkbox"/>
	歴史的な景観資源の周囲では、歴史的・文化的な面影や雰囲気配慮した屋外広告物の掲示			<input type="checkbox"/>
	道路の交差点付近では、誘目性の高い意匠の掲出を避けるなど、景観に配慮			<input type="checkbox"/>
	複数の屋外広告物を掲出する場合、大きさの統一や色彩のトーンを揃えるなど、全体的なバランスを意識			<input type="checkbox"/>
※住宅地	原則として屋外広告物を設置しないが、設置する場合は景観を阻害しないよう形態、規模、色彩、光源等に配慮			<input type="checkbox"/>

※商業施設等	公園や住宅に面して屋外広告物を設置する場合、景観を阻害しないよう形態、規模、色彩、光源等に配慮			<input type="checkbox"/>	
	屋外広告物の高さは、著しく圧迫感を与える大きさを避けると共に、周辺とのスカイラインの調和を考慮			<input type="checkbox"/>	
	壁面広告物は、建築物の壁面とのバランスを考慮し、ファサードデザインを著しく乱さないよう、配置・形状に配慮			<input type="checkbox"/>	
	突出広告は、沿道景観を乱さないように、形状を揃え、壁面線に沿って規則正しい配列となるよう配慮			<input type="checkbox"/>	
植栽計画	花畑地区における主要な樹木は、可能な限り保全を行い、保全が難しい場合においては移植を検討			<input type="checkbox"/>	
	緑化にあたっては地域の在来種に適合させた樹種の選定に配慮			<input type="checkbox"/>	
色彩	※集合住宅	ベースカラーはYR系のアイボリー色			<input type="checkbox"/>
		サブベースカラーは中彩度の暖色系			<input type="checkbox"/>
		南北に連なる街区のまとまりを創出する一方で、街並みの連続性の中に適度な変化や個性を創出			<input type="checkbox"/>
		エントランスや低層部のアクセントカラーは、サブベースカラーより高明度、高彩度の色相			<input type="checkbox"/>
	生活軸(東西通り)及び緑の回廊との調和にも配慮した色彩計画			<input type="checkbox"/>	
	アクセントカラーの効果的な活用			<input type="checkbox"/>	
	商業施設等に、強調色として原色に近い高明度、高彩度の色を用いる場合、都市軸、生活軸に面する箇所以外には用いない			<input type="checkbox"/>	
その他	雨水流出を抑制する保水性・透水性舗装の採用、ビオトープの整備など、自然環境を保全、再生する取り組みを展開			<input type="checkbox"/>	
	省エネルギーに配慮した設備等の導入など、建築物等における省エネルギー化の推進、自然エネルギーの活用等に配慮			<input type="checkbox"/>	
	コンクリート再生砕石の利用、リサイクル材の活用や廃棄物の削減などに配慮			<input type="checkbox"/>	

(注) 太枠内のみ記入すること。

なお、ここに記載がない事項についてはガイドラインに沿って十分配慮すること。

次の1～4を含む敷地の場合、記載してください

1 緑の回廊

項目		配慮した内容	図面番号	照 合
歩行者空間	通路部は歩行スペースと緑化スペースを考慮し、3 m程度の幅員を確保			<input type="checkbox"/>
	方向性を示す景観木や回廊の動線上の建物がアイストップとなる演出			<input type="checkbox"/>
	通路形状は自然環境と調和する曲線や膨らみを設け、自然的、有機的なデザインに工夫			<input type="checkbox"/>
	自然系素材等の舗装材を用い、回廊全体で統一感のある色・材質・デザイン			<input type="checkbox"/>
	導入口にゲート性を演出するための工夫			<input type="checkbox"/>
緑化	既存樹木の保全と、シンボルツリーや季節を楽しめる樹木により緑を補強			<input type="checkbox"/>
	花植え活動がしやすいような花壇の工夫			<input type="checkbox"/>
広場・交流の場の形成	集会所や休憩スペース、土と触れ合える趣味活動のスペースなどを整備			<input type="checkbox"/>
	広場は、子供が遊べる実のなる木を配植			<input type="checkbox"/>
	交流施設と広場が相互に機能を補完する空間を整備			<input type="checkbox"/>
屋外工作物等	自然的雰囲気配慮し、木のベンチ、遊具、築山などを整備			<input type="checkbox"/>
	死角をつくることのない工作物の設置、フェンス、生垣の設置			<input type="checkbox"/>
	植栽計画では、アイレベルでの見通しの確保に配慮			<input type="checkbox"/>
サイン	自然素材を活かし、回廊全体で統一感のある色・材質・デザイン			<input type="checkbox"/>
照明	夜間でも回廊の連続性や、通りの防犯性を高めるよう、照明による演出を工夫し、回廊全体で統一感のある色・材質・デザイン			<input type="checkbox"/>
色彩	シンボル性を創出するために、ボックスタイプの住棟は、建物形状を活かし緑の映える色彩とし、景観のアクセントとなるよう配慮			<input type="checkbox"/>

2 生活軸(東西通り)

項目		配慮した内容	図面番号	照 合
歩行スペースの確保と沿道の緑化	歩道もしくは歩道状空地として両側3.5m以上を確保し、自転車通行にも配慮した整備			<input type="checkbox"/>
	建物は道路境界からセットバックし、緑化スペースや溜まり空間を確保			<input type="checkbox"/>
	7色の花色をもつバラエティの豊かな樹種を配植			<input type="checkbox"/>
建築物	既存の集合住宅の上層部は、低彩度で明るく落ち着いた色彩計画			<input type="checkbox"/>
	既存の集合住宅の低層部は、花・緑の映える色彩計画となるよう配慮			<input type="checkbox"/>
	花畑記念庭園に圧迫感を与えないよう、庭園からの仰角を取り入れ周辺建物の高さを抑制			<input type="checkbox"/>
舗装	舗装材料は、安全・快適な歩行者空間を演出するものを使用			<input type="checkbox"/>
	舗装材料は、雨の日でも歩きやすく、また環境に配慮し浸透性のあるものを使用			<input type="checkbox"/>
	道路全体で統一感のある色・材料・デザイン			<input type="checkbox"/>
屋外工作物等	沿道や街角広場には、ゾーンに応じた憩い、休憩スペースとなるようファニチャーやベンチ等を設置			<input type="checkbox"/>
照明	低位置照明の設置、スポットライトの採用等により東西通りのナイトスケープを演出			<input type="checkbox"/>
	街角部分は夜間のランドマークとしての演出を工夫			<input type="checkbox"/>
	夜間でも安心して歩けるよう、防犯性を高める照明計画			<input type="checkbox"/>
	道路全体で統一感のある色・材質・デザイン			<input type="checkbox"/>
サイン	街角等の景観に変化を与えることも考慮し、来訪者にも分かりやすい、場所性を創出するサイン計画			<input type="checkbox"/>
	道路全体で統一感のある色・材質・デザイン			<input type="checkbox"/>
色彩	地区のシンボル通りに相応しく、空が広がる開放的な空間を創出するため、集合住宅の上層部は、空を切らないように低彩度で明るく落ち着いた色彩計画			<input type="checkbox"/>

3 都市軸(南北通り)

項目		配慮した内容	図面番号	照 合
	歩行者、自転車が安全に通行できる歩道及び歩道状空地（計3.5m以上）を整備			<input type="checkbox"/>
	通りに沿って溜まりの空間や開放性のある空間を形成			<input type="checkbox"/>
	建物・外壁はセットバックし、沿道にアメニティスペースを確保			<input type="checkbox"/>
	通りとしての統一性を持たせるため、舗装、植栽（樹種）、照明、サイン等のデザインを統一			<input type="checkbox"/>
	駐車が通りに面する場合、緑化等を施し通りの景観に配慮			<input type="checkbox"/>
	南北通りに面する建物は、都市的で洗練され、かつ、オープンな雰囲気をつくるよう意匠や色彩を工夫し、接地階のエントランス設置、店舗や施設による沿道の賑わいを創出			<input type="checkbox"/>
	商業施設等は、隣接する広告物と規模や色彩を協調させるなど、商業ゾーンとしての連続性に配慮			<input type="checkbox"/>

4 地域軸

項目		配慮した内容	図面番号	照 合
	歩道及び歩道状空地として3.5m以上（植栽帯を含めて4.0m以上）を確保			<input type="checkbox"/>
	アキニレ等の既存街路樹等により、既成市街地からの緑の連続性を確保			<input type="checkbox"/>
	通りとしての統一感を持たせるため、舗装、植栽（樹種）、照明、サイン等のデザインを統一			<input type="checkbox"/>
	既存のボックス住棟周辺は、小さな子の探究心を駆り立てるような広場にしつらえるなど、既存ボックス住棟と一体的な整備を図ると共に、緑の回廊の導入口を演出			<input type="checkbox"/>

5 その他南北の通り

項目		配慮した内容	図面番号	照 合
	地域軸以外のその他南北方向の区画道路は、既存の周辺住宅地や毛長川を結ぶ動線として、また安全な街区サービスを確保するため道路位置の継承と歩道空間・緑の充実			<input type="checkbox"/>
	街区間を結ぶ緑の回廊の結節部では、連続性や導入口のしつらえを演出			<input type="checkbox"/>